



学校における健康診断について

4月から6月にかけて、学校では健康診断が行われます。一昨日は1・4・6年生が心電図検査、5年生が貧血検査を行い、今日は尿検査を行いました。この後は5月17日（金）に眼科検診、6月7日（金）に歯科検診、6月11日（火）に内科検診を行います。健康診断を行うに当たっては、養護教諭の〇〇〇〇先生が入念に準備等を行っています。詳細については、5月8日（水）発行の「ほけんだより」を御覧ください。

学校における健康診断は、学校保健安全法という法律で定められており、子どもたちの健康状態を確認したり、学校での勉強に集中できる環境を整えたりするために行われます。効果的に健康診断を行うためには、事前の調査や保護者の皆様からの健康に関する情報提供が必要であり、これが学校と保護者をつなぐ架け橋となります。ただし、健康課題は極めて個人的なものであるため、個人情報保護には万全を期して健康診断を行います。

子どもたちが健康で元気に学校生活を送ることは、教職員や保護者全ての願いでもあります。保護者の皆様の健康診断への御理解と御協力を今後ともよろしくお願ひします。

互いの連携を密に・・・

学校での子どもと家庭での子どもの姿は違います。一番大きな違いは、**集団生活か否か**です。学校では、同年代の子どもが集団で生活しています。子どもたちは、そこから対人関係や社会性など学校でしか学べないことをたくさん学んでいきます。

しかし一方で、トラブルもたくさん生じます。例えば、友達とのトラブルがあっても、そこから対人関係について学ぶことができます。そうしたトラブルからも学ぶことは多いのです。「**学校でしか学べないことを学んでいる**」のです。

子どもがトラブルから対人関係を学ぶ場合、学校と保護者の方との連携がとても大切になります。そこで、次のようなことを確認しておきたいと思ひます。

- 1 子どもには、多かれ少なかれ家で見せる顔と学校で見せる顔がある。
- 2 私たち大人もそうだったように、子どもは失敗しながら成長するものです。
- 3 時に子どもは、親や教師が想像もしないことをすることがある。
- 4 ゆえに「うちの子に限って・・・」というのではなく、「うちの子にもあるかもしれない」と受け止めて、学校側からの話を聞いてほしい。

子どもたち一人一人が充実した学校生活を送り、そういった学校生活の中で学力を向上させるよう、保護者の皆様と連携を密にしながら、一緒に成長を支え合っていきたいと考えております。よろしくお願ひします。